

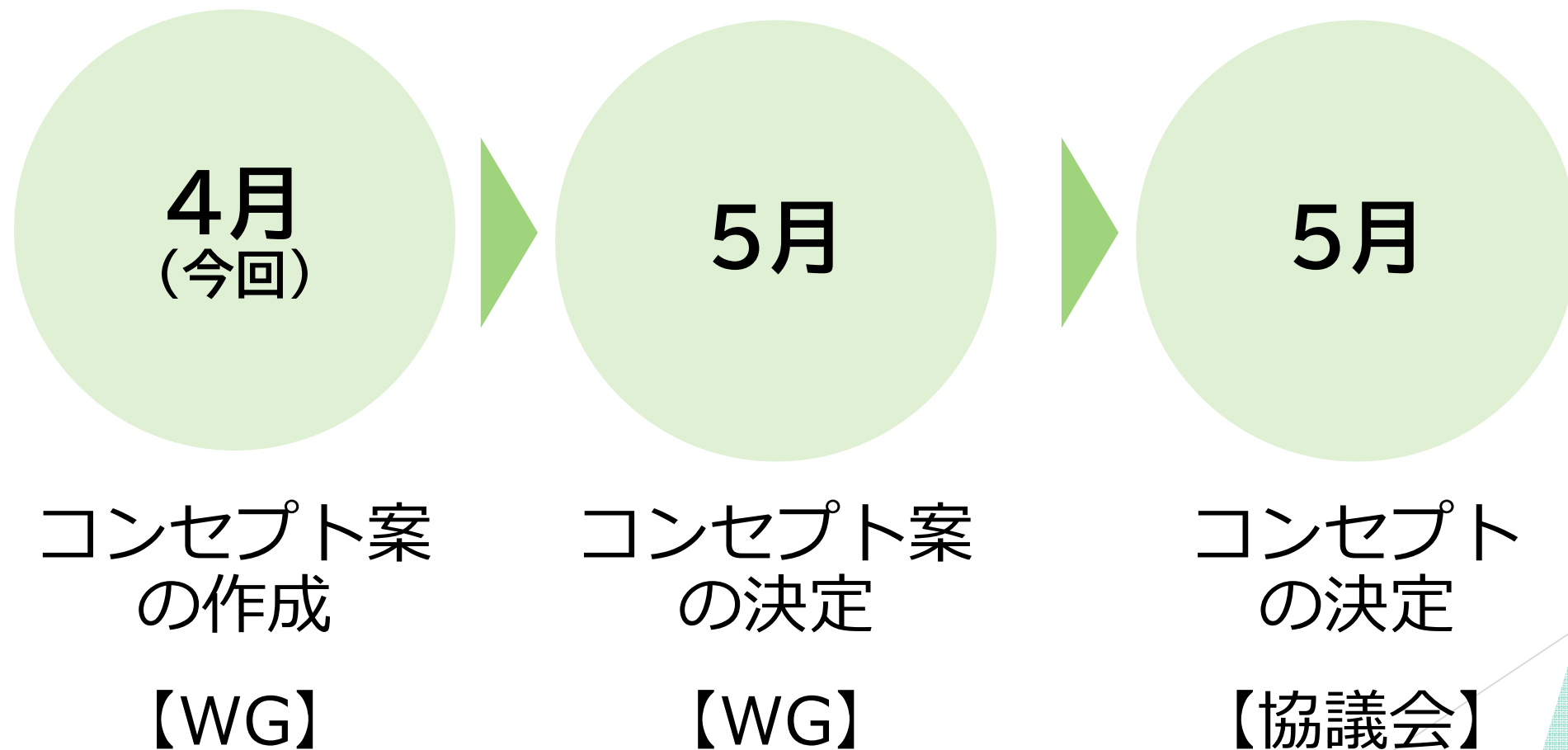
中央地区まちづくり協議会 第5回ワーキンググループ

中央地区のまちづくり2023



登別市総務部本庁舎整備推進グループ

コンセプトを決めるスケジュール



コンセプトの決め方

手順1 リサーチする

手順2 中央地区の「不」を集める

手順3 「不」の反対側（ビジョン）を集める

手順4 実現方法を検討する

手順5 抽象化した言葉をまとめる【コンセプト化】

コンセプトを決める・・・その前に

アイスブレイク

自己紹介 ⇒ 4つの窓

名前	所属
住まい これまでに住んだ（行った）ことのあるまち（最大で3つ）	今年の目標 今年こそは、これをチャレンジしたいと考えていること

1人30秒で

コンセプトの決め方

手順1 リサーチする

中央地区の強み・特徴

⇒アンケート結果から分析

成功事例の強み・弱み

⇒千葉県流山市、秋田県大仙市

市民のニーズ

⇒過去の資料から

コンセプトの決め方

手順1 リサーチする

○中央地区の強み・特徴（アンケート結果）

- ・ 自然を身近に感じられる
- ・ 登別市の中心に位置している
- ・ 民間企業や民間団体同士のつながりが強く、団結力がある
- ・ 生活のしやすさ（仕事や買い物などが便利）

コンセプトの決め方

手順1 リサーチする

他自治体での成功事例から見た強み・弱み

○千葉県流山市

人口：2005年⇒2022年 約5万人増

「母になるなら、流山市」「父になるなら、流山市」

○秋田県大仙市

歩行者通行量の増加を1つの目標値

目標3,234人 ⇒ 実績3,762人

「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」

コンセプトの決め方

手順2 中央地区の「不」を集める

「不安」「不満」「不都合」「不快」「不便」

中央地区の「不」・・・

【次に進むために、以下を意識しながら】

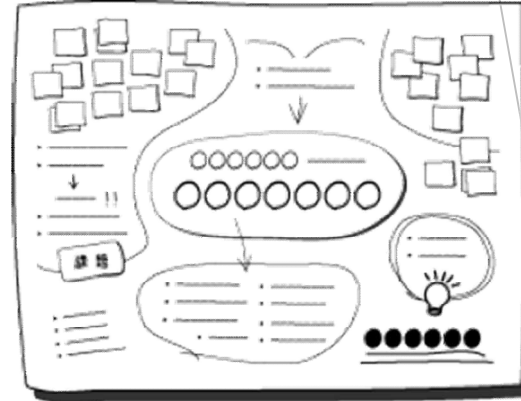
絶対に避けられないことだとしたら、どうなるのか。

自分が悪口を言われている側の1人と仮定すると、どう考えるか。

本音としてはどう感じているのか。

立場をズラしたらどう見えるのか（他地区、他市町村の住民だとしたら）

②発想を広げたり、意見の全体像を見ていくのに使える「マンダラ型」



- 中央にテーマを書いて、周辺に発想を延ばしていくことができる
- 関係の近い項目を近い位置に、遠い項目を遠い位置に配置するのが基本
- 項目のまとまりに見出しをつけたり、矢印などで関係を見せる

コンセプトの決め方

手順3 ビジョンを集める

たくさんの「こうなったらいいのに」を集める。

「不」の反対側を考える。

○例

【ゲーム】

ゲームは不健康だ ⇒ ゲームで健康になればいいのに

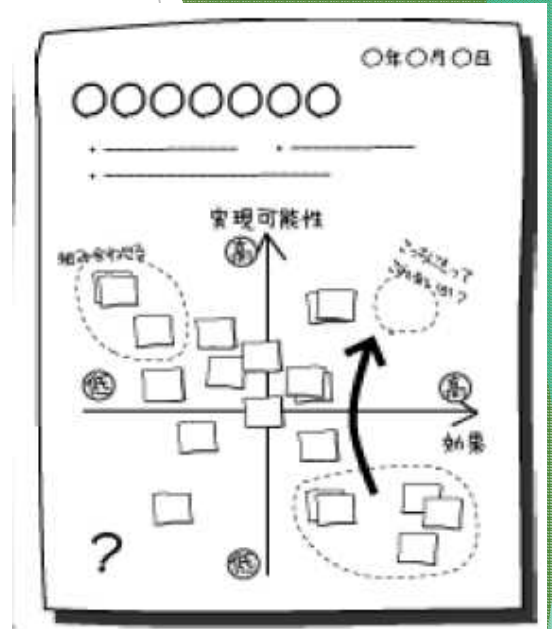
【市職員】

市職員は態度が悪い ⇒ 職員が皆キャストのようだったらいいのに

コンセプトの決め方

手順4 実現方法を検討する

ビジョンを書き出したら、ビジョンを叶えるための方法を考える。
(ビジョンを実現できるかどうかの合理性の部分)



マトリクス (四象限図)

ゲームで健康になれたらいいのに ⇒ 体を動かすゲームがあれば・・・

ゲームが苦手な人もみんなで楽しめれば・・・

職員が皆キャストのようだったらいいのに ⇒ 職員がホスピタリティ研修を受ければ・・・

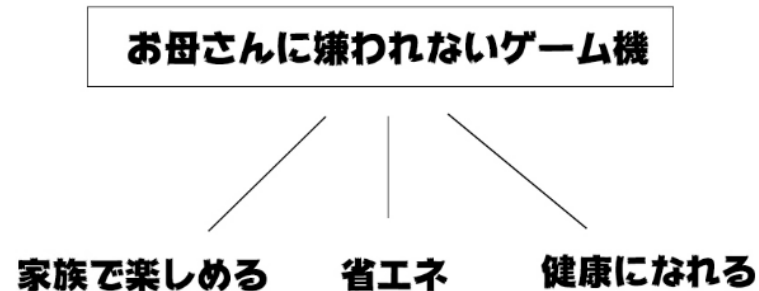
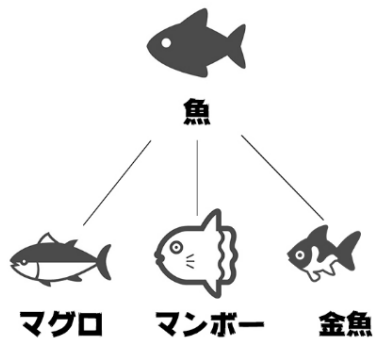
庁舎が明るくなれば職員も明るく・・・

コンセプトの決め方

手順5 抽象化した言葉をまとめる【コンセプト化】

最後に、書き出したビジョンや実現方法を「抽象化した言葉」にまとめる。

⇒抽象化した言葉にまとめるというのは、言い換えるとバラバラになった要素の共通項を見つけ出し、グループ化する作業のこと



コンセプトの決め方

○キャッチコピーのような格好良さは不要

- ・ 難しい言葉を使わない
- ・ 横文字を多用しない

○20文字前後で表現する

- ・ 簡単で覚えやすく、いつでもどこでも思い出せること
- ・ 人々の間で伝わりやすい
- ・ 数多くのコミュニケーションを通じて、形が変わらない